

持続可能な力強い農業の実現へ

我々水土里ネットは、長年「水」「土」「里」を守り、培ってきた経験と技術を最大限に活用し、農業と農村を支えてきました。「土地改良は未来への礎(いしづえ)」であることを改めて認識し、持続可能で力強い農業の実現、活力ある農村の振興を目指し、農業農村整備事業を強力に進めていくことが重要です。地域を支える農業農村整備事業の着実な展開を図るため、新たな時代の要請に対応した土地改良区(水土里ネット)の体制強化に努めて参りますので、宮崎議員の力強いご支援をお願いいたします。

佐藤喜代志 山形県土地改良政治連盟 会長
山形県土地連副会長/新庄土地改良区理事長



安全・安心な地域社会の実現へ

私たち建設業は、農村地域における工事施工や頻発化している災害発生時の緊急出動を通じて、地域社会の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての重要な役割を期待されています。

農業を基盤産業とする山形県にとって、さらに食料安全保障の強化からも農業農村整備の推進は益々重要と感じています。

宮崎議員におかれましては、農村地域の代弁者として真の声を政策に活かし農業農村の振興にご尽力頂けるよう期待しています。

佐藤 友和 山形県土地改良政治連盟 副会長
山形県土地改良建設協会会長/㈱佐藤工務代表取締役



やまがたの水土里を支える女性ネットワーク

やまがた水土里ネット女性の会では、研修会や交流会を通じて会員のスキルアップ、ネットワークを強化し、女性が働きやすい職場、活躍できる職場づくりを目指します。「性別に関係なく一人ひとりが尊重され、個性と能力を発揮できる社会」の実現に向けて男女共同参画の取組みが広がっています。

宮崎議員には、女性の声にしっかりと耳を傾け、女性が活躍できる施策づくりに取り組んでいただけるようご期待申し上げます。



元木 真澄 やまがた水土里ネット女性の会 会長
山形県土政連理事/戸沢村土地改良区総務主査

後援会への加入や宮崎雅夫通信等のお申込みは、山形県後援会事務所まで

〒990-0024 山形県山形市あさひ町16-21
TEL: 023-641-7888 FAX: 023-631-1502

〈後援会入会討議資料〉

山形県 宮崎雅夫 後援会

土地改良は未来への「礎」

土地改良の先進地・山形

山形県は、藩政時代から幾多の水源開発、疎水事業に取り組み、日本の米どころとしての地位を築いてきました。また、近代の土地改良においても全国に先駆けてかんがい排水事業、ほ場整備事業に取り組み、水田農業の生産拡大、生産性向上が実現できたものと思います。

このような土地改良先進地・山形県において、私も平成9年4月から11年3月までの2年間、庄内の地で仕事できたことは土地改良人として大きな財産になっています。

宮崎まさお

参議院議員(全国比例)
元農林水産大臣政務官



全国に先駆けた水田畑地化

山形県は「水田における畑作の本作化」を合言葉に水田畑地化事業を全国に先駆けて平成13年度からスタートさせています。枝豆、アスパラガス、ニラなどの土地利用型作物やきゅうり、トマト、セルリーなどの施設園芸作物の大規模団地化にも取組んでいます。

さらに、サクランボ、ラ・フランス、シャインマスカットなどの果樹の産地強化を図り、果樹王国やまがたを支えています。

地域ぐるみで多面的機能の維持・発揮

山形県における多面的機能支払活動は、県内農用地面積の7割、土地改良区区域の9割をカバーしており、山形県農業の持続的発展を支えています。また、中山間地域等直接支払活動のカバー率も7割を超え、棚田の保全、ため池や山腹水路の維持活動を支え、山形県の農業・農村を守っています。



「四ヶ村棚田」(大蔵村)

このように多様性に富んだ山形県の農業と農村を守り、未来につないでいくためには、国の政策の充実と土地改良予算の確保が不可欠です。これまでも水田農業のスマート化をはじめ、ため池を含む水利施設の整備・更新に向けた制度の充実、維持管理に係る農家負担の軽減などに取り組んできました。

今後も、これらの予算確保とともに山形県の農業と農村を守るために多面的機能支払制度等地域政策の充実に努める決意です。

宮崎雅夫



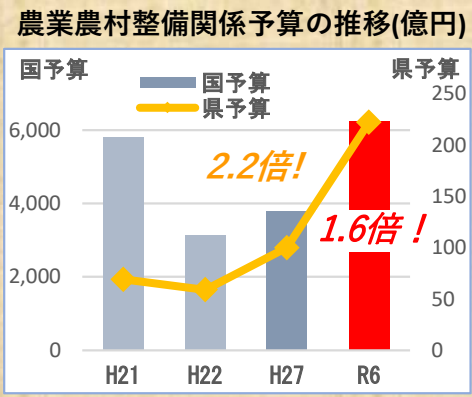
山形県の農業・農村を支える土地改良の推進

宮崎まさおの国政活動の成果

1 土地改良予算の確保

- ◆ 当初予算の着実な増額と国土強靱化、食料安全保障対策等の補正予算により**現場ニーズにこたえる予算額を確保**
3,781億円(H27) ⇒ **6,240億円(R6)【H27比165%】**
- ◆ 地方財政措置を充実し、都道府県や市町村の負担も軽減

◆ 山形県では**国の予算を最大限に活用し**、**ほ場整備やため池の改修等を着実に推進**
100億円(H27) ⇒ 222億円(R6)
【H27比222%】



2 ほ場整備の推進

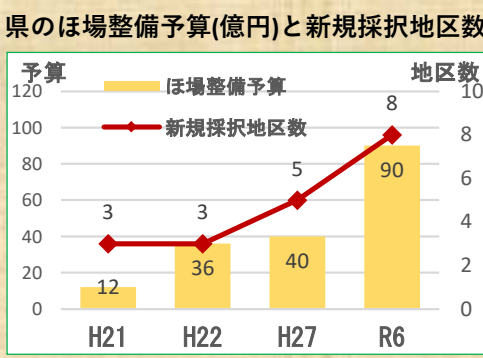
- ◆ 食料安全保障の確立と国民理解の醸成
- ◆ スマート農業を実現するための大区画化
- ◆ 農地バンクを通じた農地の集積・集約化



- ◆ 国の補正予算を積極的に受け入れ大区画ほ場の整備を**効率的・効果的に推進**
(H27) 40億円 ⇒ (R6) 90億円
- ◆ **新規採択要望を実現**するための当初予算の優先確保
(H27) 5地区 ⇒ (R6) 8地区
- ◆ **スマート農業を推進**する**ICT施工**の導入支援
(R5) 5件⇒(R8)20件



宮崎議員の現場視察 (農地整備) 土地改良区理事長 農業委員会会長



3 防災減災対策の推進

- ◆ **ため池工事特措法の制定**(R2議員立法)
・補助率嵩上(緊急性の高いもの等) 50%⇒55%
- ◆ **土地改良法の改正**(R4)
・ため池等の豪雨対策を農家の負担・同意なしで実施可能に
- ◆ 岸田総理に「**国土強靱化5ヵ年加速化対策後の取組みの重要性**」を訴え、総理から「**継続的・安定的な取組みが重要**」と答弁

◆ 山形県内の**防災重点ため池の整備**が進む
防災重点ため池**358カ所**の内、**(R1)30カ所 ⇒ (R6)42カ所**



宮崎議員の白川・長堀堰視察 (令和4年8月豪雨災害)



鏡池決壊 (川西町) (令和4年8月豪雨災害)

4 持続可能な農村の実現

維持管理支援の強化

- ◆ 農業水利施設の維持管理に係る地元負担を軽減
- ◆ 水利施設管理強化事業の創設(R3)
- ◆ 維持管理適正化事業の拡充
(防災減災、省エネ化等 補助率50%)(R4)
- ◆ **電気料金高騰への支援対策**(R4)

◆ **電気料金高騰対策**により山形県内の揚水機場等を支援
294カ所・2.5億円 (R4+R5)

多面的機能支払の充実

- ◆ 取組継続に必要な予算の確保等
- ◆ 多面支払交付金予算**500億円(R6)**
- ◆ 田んぼダム取組への加算(R3)
- ◆ 確認書類等事務の簡素化(累次)

◆ 山形県では、**活動組織と土地改良区が連携**し、取組みを拡大

- ・県内農用地のカバー率：**70%(R5)**
- ・**土地改良区内のカバー率：92%(R5)**